

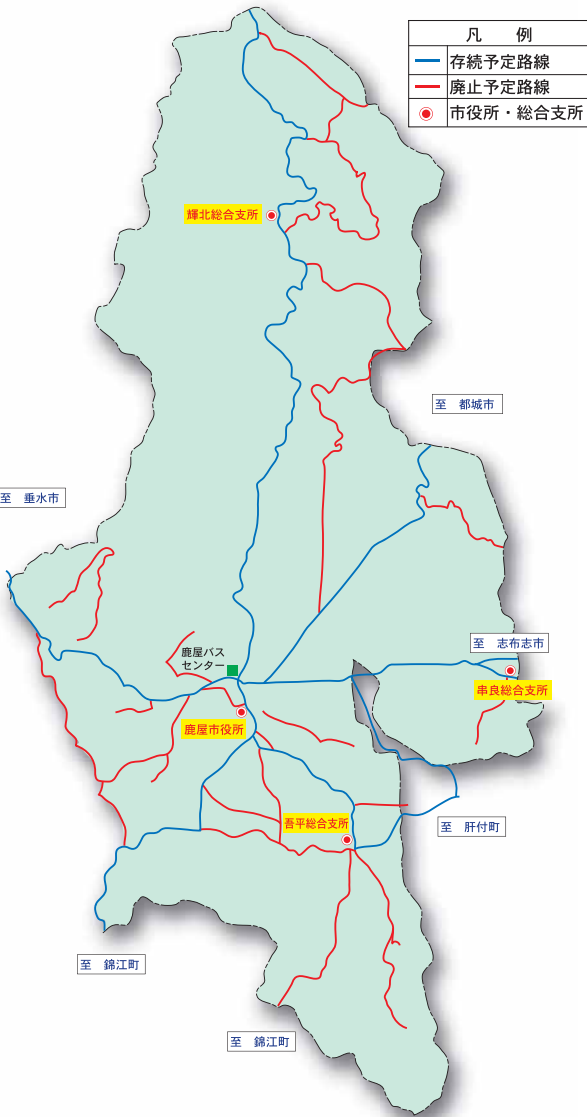
鹿屋市バス路線検討委員会を設置

市民の意見を聞きながら代替交通手段の確保などを検討

鹿屋市のバス路線図



7月7日に開催された第1回鹿屋市バス路線検討委員会



市民の意見を聞くための委員会を設置

岩崎グループは、同グループで運行するバス路線について、利用者の減少や規制緩和による経営悪化などを理由に、今年11月上旬に、国や県から補助金が出ていない赤字路線を廃止するとして、5月8日、国に廃止届けを提出しました。同グループが鹿屋市内で運行するバス路線は計73系統。そのうち60系統は、赤字路線として、今回の廃止対象路線となることから、市では、これまで大隅地域4市5町で大隅地域バス路線対策研究会を設置して対応を協議。鹿児島県や同グループに対して、大

隅地域でのバス路線の重要性」などを訴えるための要望活動の実施、路線存続に向けた県の代替バス事業の導入について協議を行ってきました。そして今回、廃止対象路線とされている60系統のうち、県の補助金が見込まれない系統について、市民の意見を聞きながら代替交通手段の確保などを検討するため、鹿屋市バス路線検討委員会（東桂木満州男会長）を設置し、7月7日に第1回目の会議を開催しました。

アンケート調査を実施

アンケート調査は、市民の路線バスの利用状況や地域交通に対する意見・要望等を把握することを目的に、5月22日から6月12日にかけて、15歳以上の市民2,321人を対象に実施し、1,921人から回答がありました。（回収率83%）

それによると、路線バスを利用している人は約33%で、その主な利用目的に、病院や買物、通学などをあげ、利用しない人は、その理由に93%の人が自動車等の利用を挙げました。しかし、その一方で、路線バスがなくなるときの影響については46%の人が困ると答え、60%の人が、路線バスを維持すべきと回答しています。

同委員会では、これらアンケート結果も参考にしながら11月までに代替交通手段の確保などについて検討していく予定です。

【問い合わせ】

地域政策課

0994・31・1154